第２章

目指す環境都市像に向けた分野ごとの取り組み

〔1〕脱炭素都市づくり

〔2〕自然共生都市づくり

〔3〕資源循環都市づくり

〔4〕快適環境都市づくり

〔5〕行動する人づくり

第2章 目指す環境都市像に向けた分野ごとの取り組み

1 脱炭素都市づくり

1 目標



【目指す都市の姿】

活力や快適性を備えながら、脱炭素化と気候変動による影響への適応が実現したまち

【定量目標】

○温室効果ガス排出量

〈中期目標〉令和12年度（2030年度）における温室効果ガス排出量を平成25年度（2013年度）比で55%以上削減（森林等による吸収量を含む）します

〈長期目標〉令和32年（2050年）温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します

2 令和7年度の進捗状況

市域の温室効果ガス排出量は、直近の推計結果である令和6年度速報値で667万t-CO_2（前年度比1.3%減）となり、基準年度である平成25年度と比較して26.8%減少しています。

令和7年度は、「おうちのエコトク」等を通じ、家庭からの排出削減に取り組むとともに、事業者と市が協働して排出削減に取り組む「温室効果ガス削減アクションプログラム」を推進しました。

定量目標	進捗状況
○温室効果ガス排出量 〈中期目標〉令和12年度（2030年度）における温室効果ガス排出量を平成25年度（2013年度）比で55%以上削減（森林等による吸収量を含む）します 〈長期目標〉令和32年（2050年）温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します	26.8%削減 （令和6年度〈速報値〉）

「脱炭素都市づくり」を推進するための個別計画である「仙台市地球温暖化対策推進計画2021-2030」では、「温室効果ガスの削減目標」のほか、「再生可能エネルギーの導入目標」及び「『地球温暖化対策の推進に関する法律』に定める施策の実施目標」を設けています。また、「温室効果ガスの削減目標」の進捗状況を確認するための「管理指標」及び「施策の進捗状況確認項目」を設定しています。

○再生可能エネルギーの導入目標

目　標	進捗状況
令和12年度（2030年度）までに805MW（令和4年度（2022年度）実績の約2倍）を目指します	508MW（令和6年度）

○「地球温暖化対策の推進に関する法律」に定める施策の実施目標

目　標（令和12年度（2030年度）時点）		進捗状況
事業者・住民の削減活動の促進	温室効果ガス削減アクションプログラム参加事業者の温室効果ガス排出削減量：44万t-CO_2以上	23.2万t-CO_2 （令和7年度<速報値>）
	日常生活における市民の環境配慮行動（25項目）について、全ての項目における実践割合を現在よりも向上 基準値：平成30年度（2018年度）環境に関する市民意識調査結果	25項目中 13項目で向上 （令和6年度）
地域環境の整備及び改善	みどりの総量について、現在の水準を維持・向上 基準値：78.4%（令和元年度（2019年度））	78.7% （令和6年度）
	都市計画区域内の都市公園等の市民一人当たり面積：20㎡以上	19.2㎡ （令和7年度）
循環型社会の形成	家庭ごみに占める資源物の割合：30%以下	45.7% （令和7年度）

○管理指標

管理指標	令和6年度〈速報値〉	（参考）令和5年度
市域のエネルギー消費量	126千TJ	124千TJ
市民1人当たりのエネルギー消費量	119GJ/人	116GJ/人
市民1人当たりの温室効果ガス排出量	6,266kg-CO_2/人	6,334kg-CO_2/人

○施策の進捗状況確認項目

区分	施策体系	進捗状況確認項目	令和7年度の状況	（参考）令和6年度の状況
緩和策	脱炭素型のまちの構造をつくる	みどりの総量（緑被率）	78.7%（5年に1回把握）	
		建築敷地内での樹木植栽本数	54,429本	66,171本
		都市公園面積	17,092,241㎡	16,957,256㎡
		森林の間伐面積	39ha	38ha
	脱炭素型のエネルギーシステムの構築を進める	家庭向け省エネ等支援制度利用件数	1,356件	1,625件
		事業者向け省エネ等支援制度利用件数	74件	59件
		住宅において一定の省エネルギー設備等を導入している件数	203,000件（5年に1回把握）	
	環境にやさしい交通への転換を進める	地下鉄、バス利用者数	142,678,320人	139,753,398人
		コミュニティサイクル利用回数	120万回	117万回
		次世代自動車補助制度利用件数	18件	23件
	持続可能な資源循環都市を目指した取り組みを進める	ごみ総量	330,249t	335,867t
		1人1日当たりの家庭ごみ排出量	407g/人日	417g/人日
		家庭系食品ロス量	12,380t	12,006t
		廃棄物分野における温室効果ガス排出量	10.7万t-CO_2（令和6年度〈速報値〉）	11.0万t-CO_2（令和5年度）
	脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルを定着させ行動を促す	イベント・講座等参加者数	12,170人	9,771人
		環境配慮制度認定事業者数	138事業者	147事業者
	地域経済と環境の好循環を生み出す	温室効果ガス削減アクションプログラム実績	23.2万t-CO_2〈速報値〉	13.4万t-CO_2
		脱炭素経営への取り組み事業者数	352事業者	284事業者
		分散型エネルギー創出・次世代エネルギー研究開発等取り組み件数	0件	0件
適応策	気候変動が農業や自然環境に及ぼす影響を把握し適応する	農作物の高温対策や病害虫等に関する情報提供の実施回数	23回	23回
		生物多様性普及啓発イベント参加者数	196人	239人
	自然災害による被害を最小限に抑える	雨水排水施設整備率	37.4%	37.3%
		雨水総流出抑制量	1,877㎥	730㎥
			1,766㎥/h	2,502㎥/h
		要配慮者利用施設の避難確保計画作成数	979施設	895施設
	健康に与える影響を把握し軽減する	イベント等における啓発実施回数	48回	20回
		気象警報等の発令回数	6回	1回
	事業活動・生活環境におけるリスクに備える	市街地のみどりの総量	29.9%（5年に1回把握）	
		市街化区域内の民有地緑化面積	12.0ha	5.8ha
		打ち水等のイベント参加者数	60人	0人
		気候変動適応の認識度	39%（5年に1回把握）	

3 主な施策の実施状況

(1)仙台市の温室効果ガス排出量の状況

(ア)温室効果ガス排出量の推移

令和6年度の温室効果ガス排出量は速報値で667万t-CO_2(前年度比1.3%減)となりました。省エネ意識の高まり等により、前年度に比べて排出量が減少したものと考えられます。

図2-101 仙台市域の温室効果ガス排出量の推移

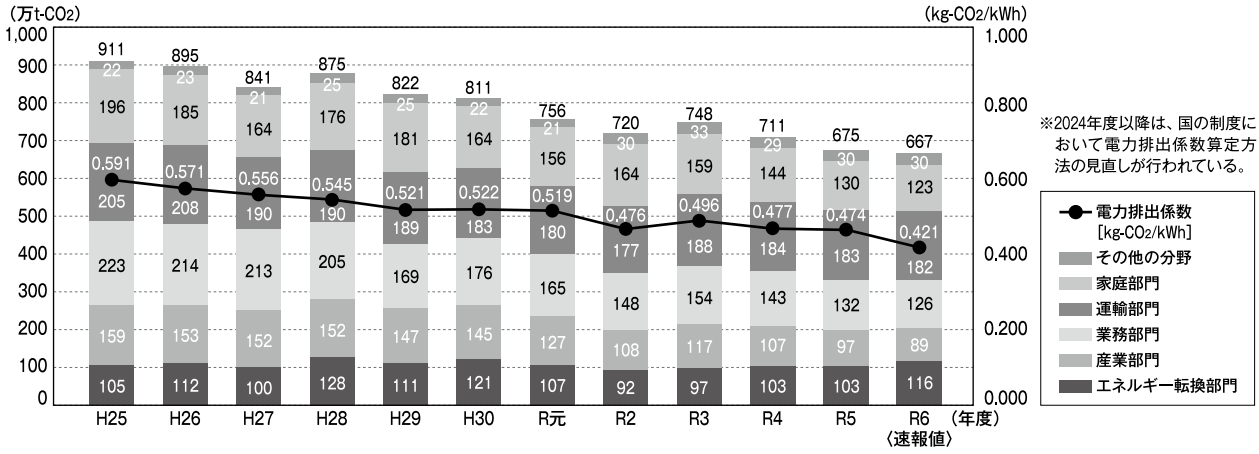
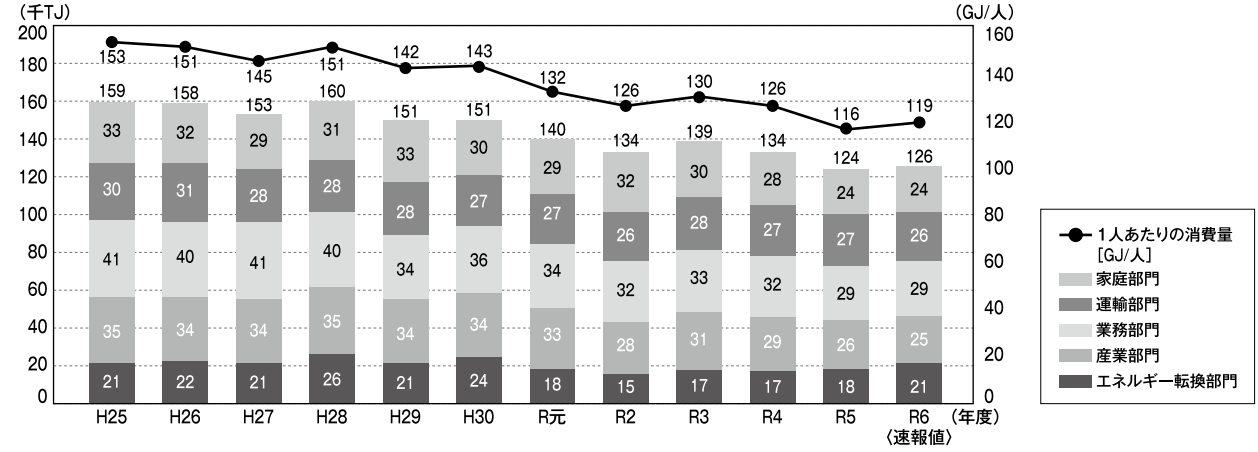


図2-102 仙台市域のエネルギー消費量の推移



【温室効果ガスの排出部門について】
エネルギー転換:発電所等におけるエネルギー転換(例:石油から電力等)のための燃料の自家消費に伴う排出
産業:農林水産業、製造業、鉱業、建設業における燃料・電力の使用に伴う排出
業務:事務所・ビル、商業・サービス業施設等における燃料・電力の使用に伴う排出
運輸:自動車、船舶、鉄道における燃料・電力の使用に伴う排出(自家用車を含む)
家庭:家庭における燃料・電力の使用に伴う排出(自家用車の使用に伴う排出は運輸で計上)
その他の分野:廃棄物焼却等に伴う二酸化炭素、自動車の走行に伴う一酸化二窒素などの排出

※市域における温室効果ガス排出量は、国・県・業界団体等による各種統計資料をもとに推計するものですが、それらの資料の公表まで一定の期間を要することから、統計資料の一部を前年度同値で仮置きする等して算出したものが「速報値」です。なお、統計資料の公表に伴い、過年度も再推計した排出量に修正しています。